



花みずき



第20期 第1号
 発行者代表 三輪真理
 編集者 梶田明子

総主題 **主イエスのまなざしと出会う**

主題聖句 「新しい酒は、新しい革袋に入れるものだ。」
 マタイによる福音書 9:17

「聖なる空間でお礼を」



立野 泰博 牧師(日本福音ルーテル広島教会)

12年ぶりに西教区に帰ってきました。さあまたこれからだと思っていたら、引退まであと10年でした。まだ若いと思っていましたがそれなりの年齢になっていました。いま自分が牧師になりたての若いころに、先輩の先生方から教えていただいたことを思い出しています。そして最後の10年を過ごしていきたいと思えます。

「教会の扉は朝7時に開ける」「礼拝堂の椅子は毎朝整える」「規則正しい生活と息抜き」「聖書を毎日読んで祈る」「教会員全員の名前をよび、毎朝一番に祈る」などなど。もっとたくさんあります。その中で自分なりに学んだことをやってきました。その一つ礼拝堂を常に聖なる空間として整えておくことが自分の大切

なミッションだと考えています。ルター派礼拝は、そのものが宣教であり、また礼拝堂それ自体が祈りとみ言葉によって整えられた宣教の大切な場所で、地域にも開かれています。そこをいかに大切にできるかなど。

広島教会で毎朝の仕事は、まず礼拝堂の椅子を整えることです。縦横をきっちり合わせることにしています。64のベンチ椅子はどこかが必ず動いています。そこでは誰かが祈っておられ、毎朝礼拝が行われている。地域の方々に用いられ、そのたびに動きます。毎朝6時に椅子を整える度に、動いていることに感謝します。昨日も誰かがここに座っておられたのだと。日曜日だけでなく、毎日礼拝堂は聖なる空間として神様から命を与えられています。その命はみ言葉と祈りによって与えられているのです。

ある日、一人のおばあちゃんが礼拝堂に入ってこられました。お礼を言いたいと言われるのです。「戦後すぐこの鶴見町は原爆によって焼け野原になっており、しばらくして教会が建った。大人たちには反対されたけれど、教会に行く学校があり、宣教師がいてお菓子をくださった。それが嬉しくて毎週教会にいった。アメリカ人から施しを受けるなど怒られたとき、教会の堀越しに覗いていたらチョコレートくれた。その優しさに触れ、それがずっと心の支えになった。辛いとき、悲しいときに礼拝堂でいつも一緒に祈ってくれた。その礼拝堂を思い出して、これまでの人生の困難を乗り越えてきた。だから召される前に礼拝堂でお礼を言いたい。80歳を超えていまお礼を言いに来ました」と。

礼拝堂の扉は24時間あけています。どなたでも、いつでも聖なる空間が迎えてくれます。日曜日だけでなく、週日の礼拝、祈りとみ言葉を大切に牧師でありたいと再び思っています。

プロフィール

立野 泰博 先生(日本福音ルーテル広島・松山教会 牧師)

1960年熊本県南阿蘇立野生まれ。日本ルーテル神学大学・神学校卒業。日本福音ルーテル広島教会を経て、ルーテル教会事務局長に就任。2011年3月より震災救援として石巻河北を中心に活動。その後、九州教区大江教会に赴任。九州学院で聖書科非常勤講師を経て、2020年4月広島教会に再赴任し現在に至る。

認定臨床宗教師、スピリチュアルケア師として緩和ケア病棟にて活動。タイ、インドネシア津波災害救援、パレスチナ子ども支援。タイ山岳民族教育「若竹寮」支援他。

著書に「おはなしがいっぱい」、「おはなしお道具箱」、紙芝居「イエスさまありがとう」「せかいのはじまり」説教レシピ「神さまのおべんとう箱」(AVACO)、絵本「咲いていること」(ザ・メディアジョン)他。キリスト新聞社「被災地に立つより添いびと」は日本図書館協会選定図書に選ばれる。

第20期役員です。3年間よろしくお願いします。



三輪 真理 (広島教会) 教区会長

ちょうど10年前に西教区女性会長をさせていただき、今回2度目の会長職をお引き受けしました。少しは勝手がつかめているはずなのですが、長引くコロナ禍で全くスケジュールが立たず初めての事に戸惑うばかりです。

神さまはいつもチャレンジをお与えになります。自分の経験に頼ることなく常に主のみ声に聞き従いながらお役を務めていきたいと思っております。

10年前小学生だった娘も来春からは大学院生。私自身は夫の自営業をサポートしながら音楽家としても広島を中心に演奏活動をしております。どうぞよろしくお願いします。



佐々木待子 (下関教会) 教区会計

神様のご計画は本当に計り知れないことです。先輩役員より70才代はお役を引き受けするのにいい年、子どもは自立、孫も手がかかなくなる歳だから、自分の時間が生まれ教会のお役を引き受けるのは丁度よい年代だと言われ、子どもも孫もない私はどう返答すべきか「うーん」？今は先輩のご苦勞を偲びPCを開き、帳簿付け、郵便局通いです。現役時代、小児看護師、小児看護学専任看護教員として気が抜けない緊張した仕事をしてきましたが人間関係のあたたかい職場に恵まれ本当に燃焼した仕事をする事が出来ました。退職後はホッとして卓球を楽しみつつ、60才から手ほどきを受けてマンドリンを楽しく緊張して震えながら弾いていましたが、楽しさもつかの間この度、神様より今を生きるよう会計を拝命いたしました。ふつつかな私ですがよろしくお願いします。



柘田 明子 (下関教会) 教区書記

書記担当として2度目とは申せ、その時のメンバーさんに大変ご迷惑をおかけしていたことがはっきりしました。毎日パソコンを使つての印刷屋という仕事を終え、これならできるかもと決めたものの、会話を文字にするのと、手書きのものを文字に仕上げることは全く違いました。今回はただ仲間の役員さんの足を引っ張らないよう書記の仕事は順調に進み終わることが目標です。

日常は同行支援で視覚障害の方と散策・買い物など会話を楽しみながら一緒に歩いています。膝関節も元気で普段でも速足で歩き、夫より歩くのは早くなっちゃいます。これって幸せですね。感謝、感謝です。



立野 照美 (広島教会) 教区連盟担当

昨年の4月に12年ぶりに広島教会へ戻ってきました。まさか、また広島へ・・・?! 驚きと共に懐かしい方々との再会は嬉しかったです。

これまでの教会生活でも、女性会の活動には参加してきましたが、まさか役員になるとは。それも連盟担当?! 幾度となくお断りしましたが、「神様からのお導きでしょ」と牧師に言われ、後は祈りながらお役に立てるように進むしかないという覚悟をきめた次第です。

教区と連盟のパイプ役として、楽しい女性会にしていくことができればと思っています。どうぞ、よろしくお願い致します。

2021年度 西教区各教会女性会役員名簿

関西地区			東・西中国・四国地区					
京都 (みぎわ会)	会長	三宅 愛子	福山	会長/会計	三原 澄恵	シオン徳山 チャペル	会長	平岡いづみ
	副会長/書記	沼崎 素子					会計	藤井 素子
	会計	落合 直子	西条	会長	白島かおり			
会長	高田 裕美	書記		田丸 浩子	シオン柳井 チャペル	会長	部屋すみ子	
副会長/書記	宮本 陽子	会計		池田千恵子		副会長	吉岡トミ子	
会計	井幡 礼子					書記	中下真知子	
大阪	会長	金田 貴子	広島 (マリア会)	会長	三輪 真理	宇部	会長/書記	柳井悦子
	副会長	大野 裕子		副会長	森本みどり		会計	吉川純子
	書記	犬飼久美子		書記	西本 民子			
	書記	石井恵美		会計	林 恵子			
	会計	小西 敬子						
天王寺	会長	鈴鹿 文音	松江	会長	森脇 清子	厚狭	会長	吉田 洋子
	副会長	中岡喜代子		書記/会計	松林三津子		副会長	嶋田 怜子
	書記	藤本 奈央					会計	小林 恭子
	会計	井辻佐和子	松山	会長	山口 敏美			
豊中	会長	秋山 綾子				下関 (シャローム会)	会長/書記	佐々木待子
	会計	川畑佳永子					会計	栴田 明子
西宮	会長	浅井千恵子						
	書記	市原理美子						
	会計	富安 信子						
神戸東	会長/会計	大黒 環	会長	広島	三輪 真理	会計監査	シオン徳山 チャペル	佐伯 鎮子
	副会長	乾 康子	書記	下関	栴田 明子			
神戸	会長	別府タエ子	会計	下関	佐々木待子	会計監査	福山	三原 澄恵
	書記	下村 道子	連盟	広島	立野 照美			
	会計	山本 幸子						

2021年度 西教区女性会役員・会計監査役名簿

会長	広島	三輪 真理	会計監査	シオン徳山 チャペル	佐伯 鎮子
書記	下関	栴田 明子			
会計	下関	佐々木待子	会計監査	福山	三原 澄恵
連盟	広島	立野 照美			

コロナ禍でのオンラインの活用報告

コロナ禍の中、色々な制限があり自由に集会が持てなくなっている一方、オンラインを用いて、遠く離れた場所の兄弟姉妹と共に礼拝を守ったり交流をすることも可能になりました。6月20日、zoom(ズーム)を用いて、世界の姉妹たちと繋がろうという企画を実施しました。アメリカのLCR 復活教会日本語部、聖霊の実ルーテル教会、広島教会、松山教会、下関教会、京都教会の姉妹がオンラインで一堂に集い、ひと時の交流を楽しみました。オンラインを用いたこのような企画はこれからも実施していきますので奮ってご参加ください。



オンラインで繋がろう

地区連絡会を開催しました

10月に第20期初めての地区連絡会を開くことができました。今年は東西中国四国地区と関西地区の2開催。zoomも用いてリアルとオンラインのハイブリッド開催。久しぶりに顔を合わせた姉妹たちと豊かな恵みの時間でした。コロナ禍の困難な中でもなんとか女性会としての活動をつないでおられる各教会女性会の皆さまの働きに勇気と元気をいただきました。お互いに祈りを合わせていこうという気持ちも新たにしました。各地区の教会報告の中からのご紹介です。



東・西中国・四国地区連絡会広島教会にて

ベニア板貼り絵

國吉純枝 (厚狭教会)

例年、教会学校では夏のキャンプで、ベニア板を使った“貼り絵”を制作してきました。「ダビデとゴリアテ」「アブラハムとイサク」「モーセ」「エステル」「パンと魚」「エリヤとエリシャ」など、その夏のテーマにそってベニア板(90 cm×120 cm)に下絵を描き、ちぎった色紙を、薄めた木工用ボンドで貼っていくのです。コロナ禍の為、今夏もキャンプは実現しませんでした。ところが、8月上旬、山陽小野田市から教会学校「わかばの家」宛に、『第16回市民文化祭 展覧会』への出品案内が届いたのです。去年は開催されなかったのですが、一昨年とその前年に出品していました。



毎週、子どもの数「一人」という厳しい状況のなか、こういう機会は大切にしたいと考え、大人も一緒になって取り組めば「できる!」と思いました。テーマはすぐに決まりました(・・・写真から想像していただけるかな?)。「そのDVD」を何回も視聴していたタイミングだったのです。

と、いうわけで、8月中旬に早速下絵を描きました。11月11日の搬入まで時間はたっぷりあると計画していたところ、隣接する市でのクラスター発生などあり、結局1か月、集まる形での礼拝が中止、教会学校も休校の事態となりました。色紙を小さくちぎって貼っていく時間のかかる作業。集まる形での主日礼拝が再開されたのは9月半ば過ぎから。毎週、礼拝後の貼り絵制作はコツコツと続けました。とはいえ、「密」になるほどの人数でもなく、交替しながら楽しみながらの作業。振り返ってみれば、子ども一人と女性会の合作となりました。中島牧師も第1回目参加。羊とにわとり?を担当・・・。11月上旬、簡単な額縁をつけて完成!

毎回、熱心に指導してくださっていたN姉も・・・ベニア板に色紙を貼って絵にするという手法を子どもたちに伝授・・・天国から応援してくださっていたのは確かです。主に在って感謝。

東、西中国・四国地区 10月16日(土) 13:00～
 関西地区 10月23日(土) 13:00～

お若い役員誕生

桑野 住子(天王寺教会)

令和2年60周年を迎えました教会と共に、“子供が子供として子供らしく生きられる幼稚園”というキャッチフレーズのもとに、定員105名を持つ真生幼稚園が存在しております。

かつてはお餅つき、大きなバザーが開催され、地域に愛され、地域の方々と共に歩んでまいりました。女性会ではこのコロナ禍の中、長い間引き継がれた“女性会ノート”を作成、行事計画、連絡網、住所録等を記載いたしました。

リモート礼拝では、なかなか活動が出来かねます。しかし昨年11月女性会総会にて長い間の念願と祈りで、漸く最もお若い3人の役員誕生があり、この上ない喜びです。10月より礼拝再開となり、献金のお祈りの場面に赤ちゃんを抱っこして登場、騒いでいるお子様を離れての登場に嬉しく微笑ましく思います。

今年は支障のない限り、女性会中心のクリスマスに向けての聖歌隊、また月2回のグループフリージアのコーラスの練習も再開致します。主に向かって賛美する喜びを持ち続けられる姉妹に神様の愛を感謝致します。女性会も若い方々に引き継いで参りますが、るうてるホームでお住いの人生の先輩方、ご自宅でご病気で悩んでいらっしゃる方々を尊敬し、慈しみを持って歩める女性会でありたいと思います。



関西地区連絡会西宮教会にて



まなざし通信と
はなみずきHPの紹介

12時の祈り、瞬間の祈りの提案もなされました。
「祈りのカード」を用いて西教区女性会の皆さんのためにお祈りください。



ACWCJ 関西支部一日研修会報告

三宅 愛子(京都教会)みぎわ会

10月8日(金)10時半からACWCJ関西支部一日研修会がリモートで行われました。リモートでの研修会にも関わらず、参加人数はおおよそ121名でした。なお、参加教派は救世軍、在日大韓基督教会、日本基督教団、日本バプテスト同盟、日本バプテスト連盟、日本聖公会、日本福音ルーテル教会でした。教派を越えて神様の御前に集い、心をひとつにし、多くの兄妹姉妹たちと共に祈りの場をもてたことに感謝しています。

2020年は新型コロナの為に関西一日研修会を中止しました。その為、今年のリモート研修会に於いては2020年の台湾式文が用いられました。

アジア教会婦人会議では、19加盟国の中から毎年当番国が式文を作成します。2020年の式文は台湾の長老派教会女性牧師の会により作られました。

『主によって新しくされて』～隔てを乗り越え、連帯して前に進む～この主題に添って救世軍の鈴木真理子先生からメッセージもいただき大変恵み深い貴重な時間だったように思います。

長く続いているコロナ禍のなかであっても神様が共にいてくださっているということを再確認し、この研修会でいただいた多くの恵み、学びをそれぞれの教会に持ち帰り、信仰生活に活かしていけるよう導いてくださった事に感謝します。

ありがとうございました。

びふおー・あふたー

神戸東教会・神戸教会

18歳の春。新しい学生生活が始まり、「どのサークルにはいろうかな」と迷っていた時に、「人生について一緒に考えませんか」との勧誘にひかれるものがあり、聖書研究会に入部しました。初めて目にした聖書は新鮮さを通り越して驚きそのものでした。そのような環境の中においても、聖書の御言葉はほとんど理解できませんでしたが、先輩方や同級生の真剣に生き方を模索する姿から、多くのことを学ぶことができました。

そして、卒業後はずっと教会や聖書から離れた生活が続きました。

しかし、神さまのみわざというものは不思議なものです。夫が退職後神学校に入学し、卒業後牧師になりました。そのような縁で私も母の介護のかたわら時々教会に通うようになり、「こんなに薄い信仰でもいいのだろうか」と悩みつつも、夫の勧めもあり洗礼を受けました。初めて聖書に接してから、実に50年以上の月日が流れていました。今は別の事情で毎週礼拝に通うことはできませんが、そのような私に教会員の方々はあたたかく接してください。今生かされていることを神さまに感謝しつつ、日々過ごしていきたいと願っています。

神戸東教会員 Y・I



① 私は10歳 昭和28年夏、母と死別し、父に連れられて神戸に来ました。そして日曜学校、教会に行きましたのが初めてです。

② 洗礼を受ける前と後で変わったこと

中学3年の時に洗礼を受けました。特別な考えがあったわけではありません。何となく流れに従ったのかな?「神はその独り子をお与えになったほどに世を愛された 独り子を信じる者が一人も滅びないで永遠の命を得るためである。」洗礼を受けた時のみことばです。そして20歳で結婚し、男子、女子と2人の母となり主人と共に教会に行っています。どんな時でもこのコロナの時代にあっても今が恵みの時と思い感謝し、祈りつつすごしています。昨年延期されていた神戸東教会90周年記念礼拝が10月31日 14時から行われます。またお祈り下さい。

女性会も今は特別なことはしていません。礼拝も日曜日13時30分からとなり、役員会などあたりで、うまく時間が取れません。また日暮れも早く、足元も危ないので家路にとの思いでまたその内にと考えています。

神様の祝福が豊かにありますようにコロナに負けないでご自愛くださいませ。

西田千鶴 78歳

私の記憶にある教会生活の始まりは、2~3歳ころ母に連れられて絵本を持って婦人会の集まりに連れて行ってもらった時です。中学卒業までは、青年会特別会員(?)として、キャンプに野外活動に参加し、楽しい日曜日でした。高校の3年間は、学校生活が忙しく、足が遠のいていましたが、大学に進学し、再び教会生活が始まりました。何も考えることなく、日曜日は朝早く家を出、帰ってくるのは夜遅くという日々でした。小児洗礼は受けていませんでしたので大学2年の20歳の時、伝道師から「そろそろ洗礼を受けては?」と言われ、時が来たと素直に(?)受洗しました。教会付属の幼稚園に勤め、サラリーマンだった夫の神学校へ行って牧師になりたいという夢に、4年間、東京と神戸の別居生活をしました。神戸教会の皆さまや、私の両親の大きな支えにより、卒業後、松山、熊本、札幌、横浜と無我夢中の毎日を過ごしました。2年前夫の定年退職を迎え、故郷の神戸に帰ってきました。

今、一信徒として、教会生活ができることは、大きな喜びです。

年齢を重ね、出来なくなったことが多くありますが、人生の総仕上げとして、今までの神様のお導きと、お守りに感謝しつつ、少し深呼吸をし、私にできることをなし、26年前に16歳で先に天国に行った息子が「お母さんこよ! 一番いい場所をとっておいたよ!」と迎えてくれるまで祈りと奉仕の日々を過ごして参りたいと願っています

神戸教会 斉藤 恵

"いつくしみ"

"いつくしみ"は、1992年「アジア女性宣教会議」をきっかけに、ルーテル4教会の女性たちの相互研鑽と主による交わりを目的として発足しました。関東委員会と関西委員会があり、現在関西では、近畿福音ルーテル教会と日本福音ルーテル教会とで委員会を構成しています。

これまでに、16回研修会を開催しました。ホスピスのチャプレン、弁護士、神学校の先生など多方面から講師をお招きして、幅広い視点で学びの時をもってきました。中でも印象に残っているのは、一年を通しての教会暦を辿りつつ、皆で賛美をするプログラムで、この時は参加者全員の心がひとつになるのを実感したすばらしい時間でした。

残念ながらコロナ禍のため、昨年予定されていた研修会は中止になり、また顔を合わせての委員会も開けておりません。今後の活動方法を模索中です。

研修会による大きな恵みも一番の目的ですが、委員として携わる中で、他の教団・教会の方々とお話することにより、視野が広がり、新しい発見があり、成長させていただいていることに、何より感謝です。

これからも皆さまのお祈りに支えられ、活動が継続できますようお願いしています。

(関西委員: 靱山昭恵、市原理美子、渡邊幸子)

三宅愛子(京都教会)みぎわ会

各施設の報告

一粒の麦

部屋すみ子

(シオン教会柳井チャペル)

ルーテルシオン教会柳井チャペルの横に木造平屋建てスレート葺の建物が位置しています。それが“ふれあいショップ一粒の麦”。火～土曜日の週4日毎日14～15名のメンバーさんが通所しています。

ケーキの製造、販売、給食作り、資源のリサイクル、野菜作り、お墓掃除代行サービス等楽しく取り組んでいます。今、コロナ禍の中で販売、ボランティア活動中止と、一粒の麦も困難の時を過しています。その中にあり、地域の方々、教会の方々等の励まし、祈りに感謝を覚え、楽しく仲良く活動していきたいと祈り願いつつ。



「喜望の家とは」

喜望の家代表 牧師 秋山 仁

喜望の家は、1976年に日本福音ルーテル教会によって設立された施設です。

大阪市西成区にある日雇い労働者が多く住んでいる地域、通称「釜ヶ崎」で、ドイツ人宣教師E・ストロームさんが、1963年から活動を始めたのがきっかけです。彼女は、1973年頃から釜ヶ崎のアルコール問題とかかわり始め、1976年に開設したのが喜望の家でした。以来、アルコール依存症およびギャンブル依存症の問題を持った方々が回復していくための援助を行っています。主に、1) 依存症の問題を抱えている方々の居場所提供、2) 依存症からの回復のためのプログラムの提供、3) 生活保護受給並びに受給後の生活相談、4) キリスト教協友会のメンバーとして共同で地域活動を行っている、5) アルコール依存症や教会のディアコニア運動に関する啓発活動、などを行っています。活動の詳細については、各教会にお送りしているニュースレター「きぼう」(隔月発行)か、ホームページ(kama04kibonoie.sakura.ne.jp)をご覧ください。



るうてるホーム

米田 節子(大阪教会)

いつもるうてるホームのためにお祈りを感謝します。2013年10月に約50年振りに新しい建物に建て替えて8年が経ちました。お一人お一人がその方らしく過ごせるようにお支えするというのがるうてるホームの理念ですが、コロナのため、日常生活が大きく制限されるという事がこの1年半続いています。ずっと大事にしている礼拝もお休みせざるを得なかったり、対面を避けたオンライン中継になったりもしました。10月に入り状況が少し改善されましたので、礼拝堂に集まっての礼拝が再開され、恵みに与る喜びを感じています。新しい日常を作り出せるよう、入居者も職員も一緒になって道を探っています。どうぞ今後ともるうてるホームを覚えて頂き、引き続きお祈りとお支えをよろしく願いいたします。今はまだ面会やご訪問も制限のある中で行っていますが、近いうちにぜひホームでお目にかかれそうです、神様のお導きをお祈りします。



ホーム礼拝

下関教会シャローム会では、化学療法など治療のため頭髪をなくされた方へ
タオル帽子を作成しています。

～ 薄い肌触りの良い木綿のタオル帽子のタオルを集めています。～



材料は薄いタオル地のみですが市場では品薄になっているのが現状です。
可愛い柄、イラスト入り大歓迎 ♡ もちろん無地でも薄ければオーケー、色柄は問いません。
どうぞ収集にご協力をお願いします。フェイスタオルのサイズ長さ80センチ以上(普通サイズ)です。

昼間はお手軽にウィッグもありますが、就寝時には木綿のタオル帽子をかぶれば頭皮が保護でき
安心して眠りにつくことが出来ます。また冬、夜の冷える時、木綿のタオル帽子の上にニット帽子を重ねれば保温もばち
ちりです。もちろん終日着用も👍オーケーです。

そこで薄い木綿のタオル地がご自宅にありましたら下記に送付して頂ければ大変助かります。
何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

送付先 〒750-0042 下関市中央町 4-12 日本福音ルーテル下関教会 シャローム会
タオル帽子担当 梶田明子宛 Tel 090-1337-9706

「るうてる食堂クレヨン」スタート



立野牧師と女性会の発案で「子ども食堂」がスタートしました。大人も子どもも誰でも食堂「るうてる食堂クレヨン」です。月に2回、第2第4火曜日。広島教会の会員さんが釣ってきたお魚、オーガニック野菜中心、化学調味料無添加の調味料、手作り。地域のコミュニティを作り、子どもたちに自然な味を伝え、子育て中のお母さんたちを少しサポート。子どもは無料、大人300円、シニア200円。他の人に食べてもらうための未来チケットもあります。1回目はたっぷり野菜のクレヨンカレー。2回目はアジフライ。ボランティアを除いて100名近くの参加がありました。子ども食堂を通じてできることをさらに探りながら地域との連携を作っていきたいと思っています。



三輪真理(広島教会)マリア会



ご召天

宮森喜代子 姉	大阪教会	2021年 1月 27日	享年 88歳
笹原美智子 姉	天王寺教会	2021年 4月 6日	享年 74歳
野村 孝子 姉	宇部教会	2021年 8月 18日	享年 91歳
米田 説子 姉	下関教会	2021年 9月 8日	享年 98歳
朝比奈眉美 姉	大阪教会	2021年 10月 4日	享年 86歳
五反田典子 姉	西宮教会	2021年 10月 11日	享年 87歳
岡部 陽子 姉	豊中教会	2021年 10月 22日	享年 92歳
柏木 雪子 姉	広島教会	2021年 11月 12日	享年 98歳



2021年1月から現在までにご召天された方です。

これまでのご奉仕に感謝申し上げます。ご家族のみなさまに主の慰めがありますようお願いいたします。

編集後記

まずはお詫びからです。前期最後の号に 99号と記載してありましたが、通し番号を確認したところ、今号が「99号」となりました。ご了承ください。コロナ禍の中 20期初めての発行は、馴れない中やっとなどり着きました。発行が1年に1回になった為多くの記事を希望しましたが、十分に時間がとれないまま進めることになりました。次号はゆとりを持って皆さんの意見を聞きつつの発行にしたいです。(M)